

第 13 号では、中学生の S S H 事業の様子をお伝えします。

「中 2 地域の森林環境保全プロジェクト」

10 月 28 日(火)、中学 2 年生は、「環境保全に努める人材として必要な資質を育むこと」を目的に、鳥取市にある摩尼山で野生鳥獣痕跡調査を行い、森林の鳥獣被害の現状と課題について実地研修をすることで理解を深めました。



鳥獣痕跡調査は、野生動物の保護や管理に欠かせない手段であり、持続可能な自然環境を維持するための重要な一歩といわれています。

生徒たちにとって、実際に動物の足跡（特にシカ、イノシシ）・爪痕・糞塊などの痕跡を観察したことは、自然環境の大切さや、野生動物との共存について考える一日となったようです。



「S S H 授業 中 2 地域国語」



本校では、SSH 科目として「地域国語」を通年で実施しています。

11 月 25 日(火)には公開授業を行い、「批判的に読む」をテーマとした授業を実施しました。この授業は、生徒が情報を鵜呑みにせず、自ら考え判断する力を身につけることを目的としています。

授業では、まず地域活性化に成功した各地の事例資料と、地域の問題解決を訴える意見文とを読み比べ、成功事例と照らし合わせながら、意見文中の矛盾点や情報の欠落を発見する活動に取り組みました。話し合いを通じて多様な視点を共有し、各班の発見を全体で発表することで、学びを深めました。

この授業を通じて、「これからニュースや記事を読むときに『批判的に読むこと』を意識したい」「自分の気づかなかった視点の意見が新鮮だった」といった感想が多くみられ、日常生活への応用を意識する姿勢が育まれました。

本校では、上記以外にも文理融合型授業の開発を行っています。一例として、(体育×情報)では骨格、筋肉、柔軟性などを科学し、筋肉の動きについて、記録・分析を行うことで「科学的思考力」や「ICT 活用力」の向上を目指す授業や、(生物×医学)では、地元の「星空米」の DNA を題材に、DNA を短時間で増幅させる PCR 法を利用した探究授業の開発を行っています。

